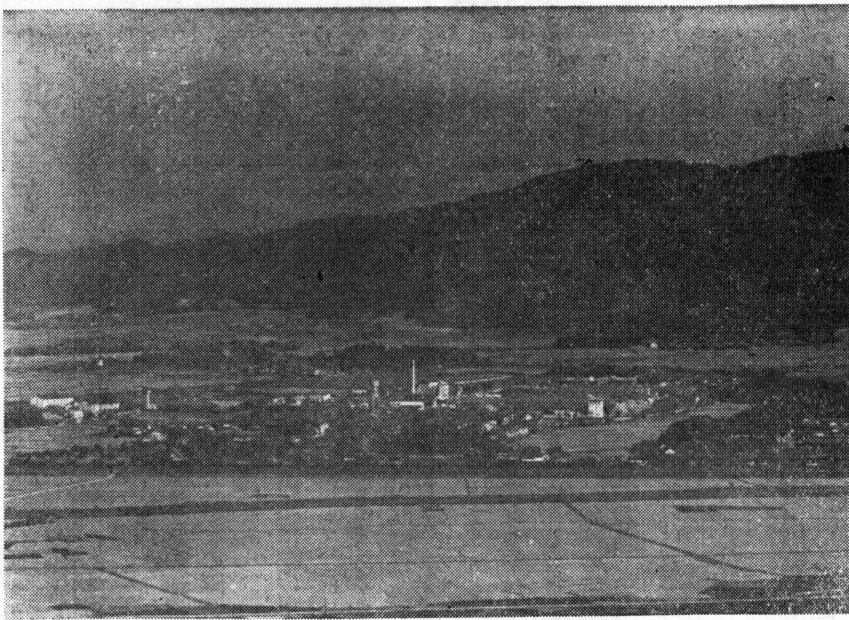


広報 幸 田

第1号

発行所 額田郡幸町
印刷所 額田郡幸町
刷版所 額田郡幸町



年頭の御挨拶

町長 本田 桂

昭和三十四年の新春を迎へ謹んで皆様の御健勝と御多幸を御慶祝申し上げます。

昨年九月前町長任期満了の後をうけ町政担当の重責をけがして以来、皆様に

直接の御挨拶を申述べ機会もなく失礼の段衷心から御詫び申

上げます。尙私事御承知の不徳

短才その器でないものであります。折角皆様方の絶大な御支援御協力により朗らかな町政を打立て、行きたい考へでありますので今後何かと御叱正御鞭撻を御願ひ致します。

新しい昭和三十四年も外交産業、経済、教育思想等に於いて国家的の見地からすれば、相当多難が予想されるのであります。が、我々日本国民として皇太子様の御成婚の御儀こそ国家悠久の隆昌の象徴であることを思ひ



等しく心の明るさを覚えるものであります。

幸田町に合併以来さしたる紛糾もなく極めて円満な融合を見

本年は丁度五周年に相当するの何等かの方法でその意義を表したいものと考えています。

健康(あらゆる意味に於て)な町づくりは従来からの町意であり、教育に、産業、経済に、

或は厚生、土木

に何れの面に於いても充実した施策が行はれてこそ始めて健康な町となるわけ、事業の実施については、前後の差こそあ

るが、それはあくまでも跛行的でなく併進的であればならぬいと信ずるのであります。

広報「こうた」については色々の事情でしばらく休刊になっていきましたが、新年号から従来の公民館活動の広報といった性格から町広報的な性格を持った編輯に切替へましたので、御了解と今後の御協力を申し上げます。以上年頭の雑感を申し上げます。重ねて一万七千の町民各位の御幸福と町発展の為の御協力をお願い申上げて御挨拶とします。

年頭に思う

幸田町婦人会長 上杉うた子

年が新しくなると新しい決意が心にかぶ、子供には子供らしく、青年には青年らしく、又主婦には主婦らしいものがうかぶであろう。くる年もくる年も今年一年はと計画を立てる楽しさ結婚を夢見ていたころ希望に崩えていたが、社会はそして理想の生活は楽なものでもないけれど今直生き長らえて居る所を見ると不思議に思う、私に力があつたわけでもない。幸運のなかに一生を過したとも思われな、それならどうして生きて来たか、幼小の時より私を守り私を導びいてくれたものがあつたそれは信仰である、多難な私にいつも希望と勇気をあたえ知恵と力とを恵んでくれたものが信仰であつた。

「良き事になどやはばかる事なかれ、弥施ともろともつきて進まん」

これが私の信念である。